

PRESTO® A40

6リットルの反応器を -20°Cから+20°Cに加熱する

目的

このケーススタディは、6リットルのガラス製反応器でPRESTO® A40の冷却力をテストします。® PRESTO®A40は往復4mの金属配管で反応器に接続されています。® PRESTO®A40は-20°Cから+20°Cに加熱するようにプログラムされています。

環境条件

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

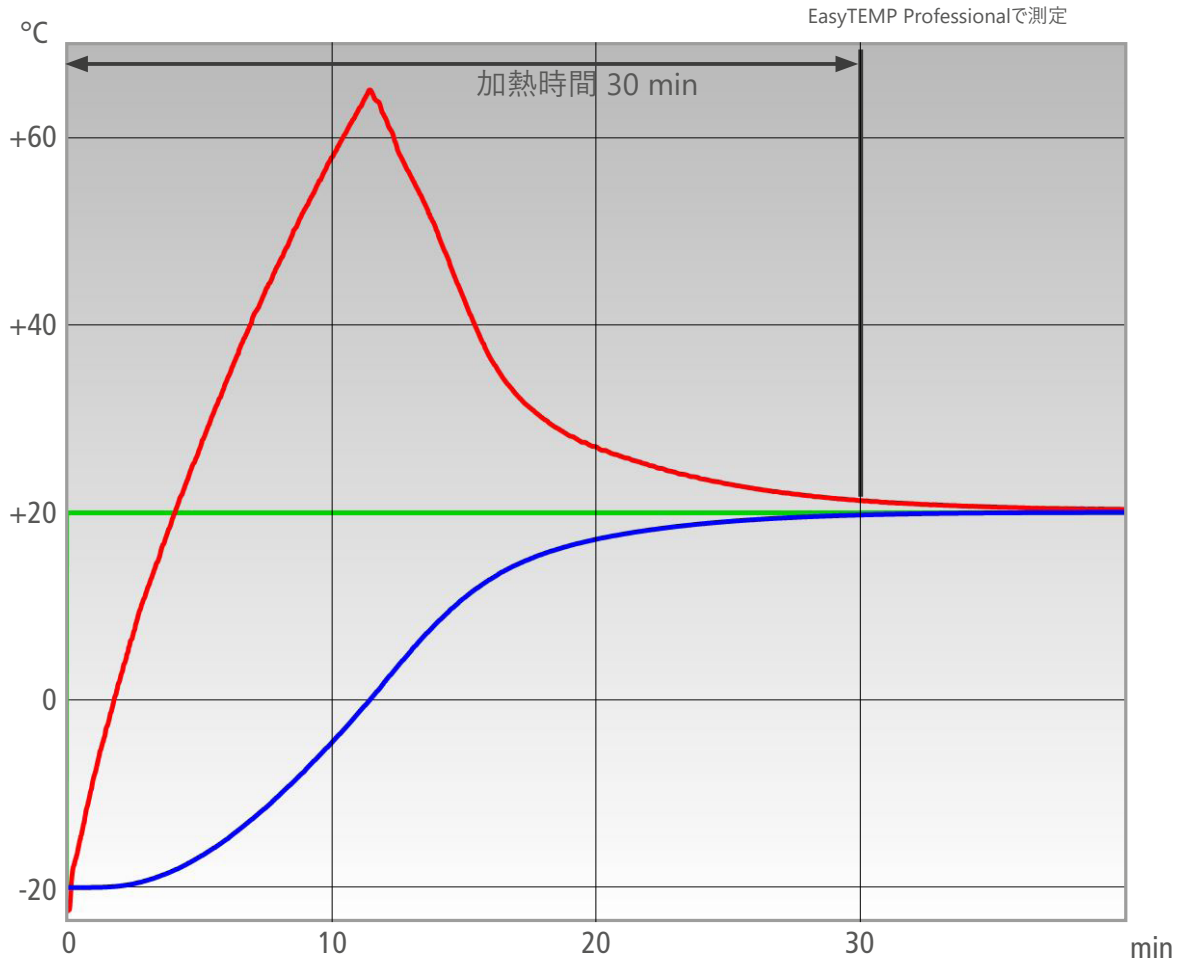
試験条件

JULABO装置	PRESTO® A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
温度制限	未使用
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマルHL60
反応器	6Lガラス容器(QVF) 内容液にサーマルHL60を5L含む
ジャケット容量	4.5L
制御方法	外部温度制御(ICC)



テスト結果

PRESTO®A40は、オーバーシュートなしで30分で-20°Cから+20°Cまで加熱します。



- 設定温度
- 反応器内部温度
- 反応器ジャケット温度

ヒント

チューブアダプターを使用すれば、あなたのチューブはねじれなくなります。



ヒント

PTFEコーティングされたPt100センサー

